

生命の源であるタネを大切にしていきたい

埼玉県飯能市の郊外に小さなタネ屋さんがある。大人の鉄腕アトムの看板や火の鳥のネオンが迎えてくれる不思議な空間だ。訪ねた日は公共放送が前々、番組で話題にした幻の野菜「のらぼう菜」というタネの問い合わせで何度もインタビュ어가中断された。これは多摩川、荒川流域の地方野菜の固定種で、江戸時代に天明・天保の飢饉を救った野菜といわれる。

「これは秋まきですが、それでもいいんですか」

電話に向かって野口さんが聞いても、客はずく欲しいという。北海道から九州まで全国から問い合わせがある。

「固定種だけを扱っている店は全国でうちだけです。2000年から固定種をインターネットで販売することになって。地元のお客さんの要望に応じてF1（一代雑種）もやっています。いまはF1でも他で扱っていないものが少しあるだけです」

F1の説明が必要だろう。固定種は何世代もかけてその土地の気候風土で選抜淘汰を繰り返してきたもの。F1は、雑種強勢という植物の持つて



のぐち・いさお 野口種苗研究所(埼玉県飯能市)代表。1944年東京都青梅市生まれ。親子3代にわたり日本の自給野菜作りを支えてきた在来種・固定種を扱うタネ屋。家業を継ぐ前は手塚治虫の担当編集者という異色の経歴。2008年山崎記念農業賞受賞。著書に「いのちの種を未来に」(創森社)がある。

「草食系男子」で仮説

野菜の自然児よ育て

が変異して作られる」
「本来タネというのは一粒万倍といって1粒が1年後には1万粒に、2年後には1億粒に、3年後には1兆粒になる。それだけ生命力を持つている。その中の何億株の中からたった一つだけ見つかった、その花粉のできない異常な個体を、1万、1兆と増やしてそればかりを人間が食べ、ミツバチも花粉のできないものに花をつけるために働かされている。それが一番の原因じゃないかな」

手塚先生の終生のテーマは生命の尊厳と地球環境の持続でした
「僕が小学校に上がったときに鉄腕アトムが始まったんです。学校で教わったことより手塚漫画から教わったことがずっと思考回路の基幹にあつた気がします。だから手塚のそばにいたいというので大学を中退して虫プロに入りま

命の再生を繰り返す固定種の方にいくんです。固定種はタネを取りながら生命を維持し発展していくものです。なにか自分なりに意味のあるタネ屋をやろうと思ったらやっぱりこうなっちゃいました」
「ガラスの地球を守れというか、生命って植物も動物もみな同じなんだというのが先生の根底にありますね。だから植物のミトコンドリアの異常でできた雑種不稔の野菜を人間が食べていても同じことになるのじゃないかなと僕の頭の中ではつながつてしま

いる性質を利用して、異なる形質の植物を掛け合わせ、一代限りの優秀さを求めたものだ。それゆえ2代目は形質がばらばらで、新たにタネを購入する必要がある。

「F1は何より生育スピードが速くて収量が多いから畑を回転させることができる。形は整って同じような形になります。一つ一つの細胞の密度は粗くなっている。日数が少なくてどんどん育つというところは光合成の期間も短く、ビタミン、栄養価が低くなる。それだけ余計食えばい

いとはいかんでしょうか」
しかし世はそんなことにおかまもなく均一で大量生産に向いた効率的なF1種の時代だ。農家が作る野菜もみな一斉に収穫できるF1種となつて、地域が育ててきた自然児ともいうべき固定種の野菜は幻の野菜と化し、絶滅の危機に。そこに懐かしいキュウリやトマトの味を求めて出てきた「固定種回帰」と「家庭菜園ブーム」がある。

「脚光を浴びるのはいいことなんです。F1も固定種も何もわからない人にはF1を勧めたいです。タネ屋から見ると野菜の形なんか圧倒的にいいんですから」

いなくなったり、女王バチが卵を産まなくなったりする原因がまだに分かっていない。野口さんは、現在のF1種が主に「雑種不稔」という技術を利用して作られていることに疑念を抱いている。

「雑種不稔とは米国で発見され、ごくまれにおしべが退化して葯の中に花粉がなくなったり葯自体もなかったりする不健康な株です。それは細胞内に共生するミトコンドリア

そこで野口さんの仮説が生まれる。
「男性機能を喪失したような精子を持つ植物を食べれば、動物にもそれが影響するということがありうるのじゃないか。人間の場合、1940年代には1ccの精液に1億5千万の精子がいるといわれたが、それが今、4千万くらいになつている。人間の精子がどんどん減っているのも食べ物せいではないか」

「火の鳥は遠い未来と過去を交互に描いて最後に現代で終わるといふ壮大なスケールで描いてきたが、結局現代まで至らず先生は亡くなった。言いたいことは言い尽くしていたと思う。生命が続くことが宇宙にとっても意味のあることなんだということ」
(編集委員 工藤憲雄)

今の子は草食系男子なんていわれませんが、確かにフェロモンが薄くなつていないでしょうか
ミツバチが欧米諸国で突然

「雑種不稔とは米国で発見され、ごくまれにおしべが退化して葯の中に花粉がなくなったり葯自体もなかったりする不健康な株です。それは細胞内に共生するミトコンドリア

そこで野口さんの仮説が生まれる。
「男性機能を喪失したような精子を持つ植物を食べれば、動物にもそれが影響するということがありうるのじゃないか。人間の場合、1940年代には1ccの精液に1億5千万の精子がいるといわれたが、それが今、4千万くらいになつている。人間の精子がどんどん減っているのも食べ物せいではないか」

「僕が小学校に上がったときに鉄腕アトムが始まったんです。学校で教わったことより手塚漫画から教わったことがずっと思考回路の基幹にあつた気がします。だから手塚のそばにいたいというので大学を中退して虫プロに入りま

命の再生を繰り返す固定種の方にいくんです。固定種はタネを取りながら生命を維持し発展していくものです。なにか自分なりに意味のあるタネ屋をやろうと思ったらやっぱりこうなっちゃいました」
「ガラスの地球を守れというか、生命って植物も動物もみな同じなんだというのが先生の根底にありますね。だから植物のミトコンドリアの異常でできた雑種不稔の野菜を人間が食べていても同じことになるのじゃないかなと僕の頭の中ではつながつてしま